



ユニバーサル農業シンポジウム in はままつ

～地域資源との有機的連携による農業の活性化について～

地域資源とのパートナーシップにより、障がい者の農業参画の機会を創出し、新たな事業展開を目指す活動事例をもとに、その成果や課題を共有し、農業の活性化に向けた連携について考えます。

配信期間

令和3年 3月9日(火)～3月15日(月)

【視聴方法】YouTube 視聴 必要なURL等は3月8日メールいたします。

第1部 事業報告 【はままつユニバーサル農業の事例 YouTube 発信】
(株)日下農園 「農業 Japan 日下竜太氏」

事例発表 【福祉施設との作業請負連携の取組】小松菜・枝豆 3.7ha



石川県河北郡内灘町 (株)笠間農園 笠間令子 氏

2007年 作業療法士となり医療現場5年間従事
2011年 中日農業賞 優秀賞
2017年 農福連携開始
2019年 法人化
2020年 ディスカバー農山漁村の宝 全国選定

第2部: 研究発表 【民間企業の障害者法定雇用率を充足するために
遠隔地にある農園等を利用させるサービスの実態・課題・応用】

農林水産省 農林水産政策研究所付 直江秀一郎 氏



これまで、農林水産省の職員として、北海道及び関東圏を中心とした農福連携の調査研究を実施。また、一般向けスタートアップマニュアルの作成、専門人材「農福連携技術支援者（農業版ジョブコーチ）」の育成制度の設計等を担当。さらに、農林水産政策研究所の併任となり、民間企業に貸農園を提供して障害者雇用を進めるサービス等について調査研究を実施。農福連携の裾野は広く、内容も深いです。現場の皆様からご指導いただき、勉強を続けていきたいと思っています。

お申し込み NPO 法人 しずおかユニバーサル園芸ネットワーク

3月7日締め切り

Eメール s.u.e.n@world.ocn.ne.jp

申込ファイルにご記入添付しEメールにより「シンポジウム参加」でお申し込みください。